



# 図書館だより 2月号



Happy Valentine

## 2月特集

必須

### 『新聞を読もう』

図書館には『沖縄タイムス』『琉球新報』『中高生朝日新聞』の3紙を置いています。新聞は時事問題をいち早く知ることができるだけでなく、語彙の向上にもなります。

図書館外の掲示物では新聞が出来るまでの流れを紹介しています。

この機会にぜひ読んでみましょう

## 特別特集

注目

### 『地震に備える』—私たちが防げることがある—

皆さん、日本で地震がどれぐらいの頻度で起こっていると思いますか？驚くことに、1時間に1回のペースで何処かしらで震度1以上の地震が起こっています。いつまた大きな地震がきてもおかしくないと言われている状況です。

記憶に新しい能登半島地震、過去の大災害から得た教訓を思い出し、今できることを考えてみましょう。

図書館では、地震に関する本を並べて紹介しています。是非、借りて読んでみてください。

令和6年2月 佐敷中学校・発行

推し作家

大衆文学

★恩田陸

『蜜蜂と遠雷』映画化  
『夜のピクニック』  
『6番目の小夜子』  
『ドミノ』

純文学

☆宇佐見りん

『推し、燃ゆ』  
☆村田沙耶香  
『コンビニ人間』  
『マウス』

大衆文学は起承転結がはっきりとしてストーリー性を重視している作品が多く、読みやすいのが特徴です。純文学は、ストーリー性より登場人物の内面に焦点を置いている作品が多く、大衆文学と比べると少し難しく感じるかもしれません

大衆文学と純文学を

読み比べてみよう！

(司書は純文学が好きです)



1923年9月1日。寺田寅彦は、美術展の帰りに、喫茶店で画家の友人と紅茶を飲んでいました。友人の作品について話をしていると、突然、足の裏を木槌でたたかような振動が……。



挑戦！

## 最終貸出

重要！

●3年生

貸出→2月14日

返却→2月28日……

(まだ読み終わってない場合、卒業式まで待ちます)



●1年生×2年生

貸出→3月14日

返却→修了式までに

※本を無くした、または借りた覚えのない本がカード履歴に残っている人は司書に相談してください。どうかします。

※借りた本を友達に貸している場合(本当はダメです)、借りた生徒はただちに返して、貸した生徒はただちに返してもらってください。

『震災日記より』 著者・寺田寅彦

著者である寺田寅彦が実際に遭遇した関東大震災をもとに書かれた作品。

地震の数日前、前兆現象のようなものから物語が始まっていきます。

『震災日記より』のあらまし  
①柱の揺れ ②カーテンの揺れ ③窓の揺れ ④壁の揺れ ⑤天井の揺れ ⑥床の揺れ ⑦机の揺れ ⑧椅子の揺れ ⑨人の揺れ ⑩物の揺れ